

Abstract of the Disclosure

表面に膜が形成された面を有する光学系を設計するにあたり、膜を含めずに所定の仕様に合わせて光学系を設計し、光学的波面を計算する（S10）。次に、形成すべき膜を設定し、その膜を含めて光学系を設計し、光学的波面を計算する（S20）。S10とS20の計算結果を比較する（S30）。S20で算出された波面収差がS10で算出された波面収差より小さければ、設計解として認め、次の段階の検討に入る。S20で算出された波面収差がS10で算出された波面収差より大きい場合はS20に戻り、膜を含めた光学系を設計し直す（S40）。以上より、表面に膜が形成された面を有する光学系において、膜を考慮した場合でも、必要な光学的性能を確保できる。